



Sea Breeze 83 湘南学園は、創立83年です

川井陽一新学園長就任のご挨拶
同窓生三氏日本フィル演奏会

会費納入方法の変更について裏面をご参照ください

【特集】新成人からのメッセージ

SEASIDE Web は、湘南学園同窓会で検索 <http://shogak-doso.org/>

楽譜出版界で女性編曲者の草分け的存在 小島 里美 (高1979年卒)

クラシックからJポップ、童謡まで
手がけた編曲は2000曲余り

「大学卒業時に就職課の掲示板で『学校教育に関心の
ある、作曲科男子募集』をみて、教育科女子はダメです
か?って直接電話し突撃就活したんです。でも、教科書
の堅い編曲が仕事だと思っていたら面接後、歌謡曲をた
くさん聴いておくようにと言われ本当にびっくりしまし
た」と笑う小島さん。高校野球の応援はじめ、誰もがど
こかで耳にしたことのある器楽、吹奏楽等、そのほとん
どの編曲を手がけてきたといっても過言ではない。

「湘南学園80周年記念音楽祭で吹奏楽部が演奏した
『ハウルの動く城』も私のアレンジだったんですよ」

5歳からピアノを習い、幼少期から絶対音感教育、音
楽理論をしっかり教授されたうえで、あえて音大付属高
校でなく、学園の芸術クラス音楽コースを受験した。



「音楽だけでなく、美術科、普通科の友人との時間、
お洒落な制服、男女共学で明るく自由な雰囲気も気に入
って。潮の香りや松林に囲まれた環境も魅力的でした。
特に、オーケストラの授業と小川尚子先生のご指導は、
私の音楽活動の支えになっています」

進学した音大では「おもしろそう」とリトミックを専
攻。子ども達に自由な発想をもたせ、能力を引き出す工
夫や、気持ちに合わせ臨機応変に即興で演奏をする経験
をした。また、夏休みの「ピアノ曲をショパン風に作曲」
という宿題が優秀作に選ばれ、作曲への興味も膨らんだ。

「4年になってから、2年の作曲科の授業を受けたり、
管弦楽法のクラスではクラリネットの二重奏やバイオリ
ン曲などを作って専科の友人を集めて演奏してもらった
り。楽しくてやっていたことが仕事に繋がっていました」

編曲は、趣味である沢登りなど自然の中を歩くことで
インスピレーションを得ることが多い。歩くテンポに乗
って浮かんでくる20種類以上もの楽器を楽譜上に登場さ
せ、使いわけ、巧みに組み合わせていくのだという。

「プロが演奏するわけではないので、難しくならず、
それでいて心に残る一曲になることを心がけています。
たくさんの恩師に、学んだ音楽を社会に生かすように、
とご指導いただきましたが、音楽に定年はないので(笑)、
これからも楽しく演奏しやすい編曲を通じて、音楽の素
晴らしさを伝えたいと思っています。そのために私自身
も、ジャンルにとらわれず、もっともっとさまざまな楽
器や幅広い音楽の世界を味わい尽くしたいです」

小島さんの楽譜から生まれる演奏は、今日も学校や部
活で頑張る子ども達の輝く青春の1ページを彩っている。

小島 里美 (こじま さとみ)

1979年 湘南学園高等学校卒業。管弦楽授業はホルン、トランペット。
リコーダー合奏はソプラニーノ担当。合唱はアルト。

1983年 国立音楽大学音楽学部教育音楽学科卒業。同年、作曲者として(株)ミュージックエイト入社。主に学校の合奏合唱、吹奏楽部の
楽譜として音楽教育の一端を担う。また、神奈川県警察音楽隊にファン
ファーレの提供や、記念行事用の作曲も。「沖縄幻影」「A列車で行
こう」等、校成ウインドオーケストラ演奏のCDに収録。他、三太郎
物語(吹奏楽メドレー)など。

編集：依田和美 (高1979年卒)



湘南学園 学園長
湘南学園同窓会 名誉会長

川井 陽一

最近興味深く読んだ私立学校に関する本に以下の一節があった。因みに著者は、いわゆる老舗の多い京都の大学で教鞭をとっている方である。

「老舗を訪ね歩くと、単に歴史を有するだけでは『老舗』の名に値しないことがわかる。『老舗』と呼ばれるためには、歴史もさることながら、一貫して創業時の理念や経営哲学を守り続け、安易に時流に翻弄されることなく、しかし柔軟に時代や顧客のサービスにも対応しつつ、一流や本物といわれるサービスや商品を提供し続けていることが条件である」。同書は、歴史のある私立学校も同様であると続いている。

湘南学園70周年記念座談会に参加された大正自由教育研究の泰斗中野光氏は、著書『大正自由教育研究の軌跡』において、明治期の代表として福沢諭吉を、それ以降の代表として澤柳政太郎をわが国近代教育における二大功績者としている。福沢諭吉の果たした役割及び慶應義塾の精神とその成果については改めて申し上げるまでもないことと思われる。一方、澤柳政太郎の高邁な理念と旺盛な研究心及び優れた教育実践は、その門下生である小原國芳の掲げた理念及び教育実践とともに、他の追随を許さないものがある。

わが国の近代教育において極めて重要な役割を担い、誰もがその偉大さを認める諸氏の精神が脈々と流れているのが湘南学園の特色であり、また誉れであると思われる。まさに、そのことが、「個性豊かにして身体健全 気品高く 社会の進歩に貢献できる 明朗有為な実力のある人間の育成」という『建学の精神』にはっきりと示されており、その建学の精神の上に、83年の湘南学園の歴史がある。

ところで、周知のように、スクールの語源はギリシア語のスコレであり、「スコレ」には、「学ぶ」という意味と「遊ぶ」という意味が同時に含まれている。幼小中高からなる総合学園としての湘南学園には、「学び」と「遊び」が渾然一体となった中で人格の陶冶と学力の向上を図るという得難い特色があるようにも思っている。

このように見てくると、湘南学園の教育には、「希望」と呼ぶべきものが内包されていることが実感される。のみならず、わが国の近代教育の粋とも呼ぶべきものを大切に守っている学園にも思えてくる。国際化、情報化、あるいは教育改革の波が押し寄せ、教育の将来が見通しにくいこの時期にこそ、湘南学園の存在意義はより際立ってくるのではないだろうか。幼小中高からなる男女共学の総合学園としての湘南学園には、誇り得る伝統や学校文化があり、これからの時代を切り拓く豊かな可能性があると感じている。

学園の幼小中高の教育活動が有機的なつながりをもち、チーム湘南学園が一体となって学園の魅力を高め、更なる発展を期したい。今後われわれが目指すべきは、守るものを守り、一方で現状に安住することなく挑戦することで、『老舗』たる資格をもつ湘南学園がまさに『老舗』として評価されることではないだろうか。

川井 陽一 (かわい よういち)

1975年 早稲田大学法学部卒業、同大第一文学部西洋史学科卒業、同大大学院文学研究科博士前期課程修了(教育学専攻)
1981年 神奈川県立高校教諭、同教頭、同校長、県教育庁教職員課課長代理等歴任
2007年 県立湘南高校校長就任
2011年 平成23年度教育者表彰(文部科学大臣表彰)
2012年 北里大学看護学部教授
他に明治学院大学外部評価委員、神奈川県高等学校野球連盟会長、神奈川県立高等学校校長会会長等の役職を歴任



学園のさらなる発展のために
同窓会会長 寛 元則

本年度より川井陽一同窓会名誉会長をお迎えし、湘南学園は新たに動き出しました。皆が感動し、多岐に渡り結果を残した創立80周年記念を終え、その成果は随所に見られました。同窓会も「チーム湘南学園」の一員として、厳しい時代(国際化、情報化)の流れの中で、存在価値のある立派な学園にすべく協力していく所存です。

湘南学園は良き伝統を大切にしながら、幼小中高からなる総合学園としてバランスの取れた教育環境を持っており、更なる今後の発展に向けて、川井陽一学園長を中心に「チーム湘南学園」が一枚岩と成ることが大事です。

他の私学との差別化を図り、学園独自のブランドの確立に取り組み、総合学園としての連携、一貫の在り方を通して湘南学園を世に知らしめるべく、川井学園長には存分にリーダーシップを発揮していただくことを期待しております。



立教大学経営学部
経営学科3年
学園幼小中高卒業
2012年度生徒会長

柴田 正太郎
高2014年卒



青山学院大学
国際政治経済学部
国際経済学科3年
学園幼小中高卒業

伊藤 もも
高2014年卒



日本大学
生物資源科学部
生命化学科3年
学園幼小中高卒業

森山 陽平
高2014年卒

二十歳になって考えた将来のこと

柴田 まず成人を迎えた今、何か変わったこととか……ある？

森山 あまり実感はないね。年金の手続きに行ったくらい。ただ卒業が近くなってきているから、社会人になる準備として、就活とかは考え始めているけれど。

柴田 俺も選挙に行ったくらいかな。二十歳は色々な節目ではあるけど、二十歳になったからって何か変わったっていうことはないね。

伊藤 私も選挙のお知らせが家に届いたくらい。ただ、将来のことは考え始めているよ。

森山 どんな感じで考えている？

伊藤 将来というかその準備だけど、私は海外が好きだから国際系の勉強がしたいかな。近いうちに1年くらい留学するとか。言語が人の人格を決めるのかっていう少し難しいような内容も大学で勉強しているよ。ふたりはどう？

柴田 昔から政治・金融分野に興味があったから大学でも勉強しているよ。将来何になるかはまだ具体的に決めてはいないけど、自分の興味があることを強みにしていきたい。

森山 俺は今通っている大学が科学と生物を足して2で割ったような、幅広く勉強できる立場にいるけど、食品系に携わっていきたいかな。今興味があるのは、医薬系と食品系を合わせた健康食品の分野。それなら自分の学んでいることが最大限に活

かせるし、他にはない強みだと思う。

これからの学園に求めるもの

伊藤 更衣室を広くしてほしいっていうのはまずおいておくとして(笑)もっと意味のある海外研修をしたほうが良いと思う。日本に帰ってきてから継続して学習できるような、目に見える成果がでることが大事かな。あと英語の授業！受験があるからある程度は仕方ないけど、実用的な英語をもっと教えてほしい。

柴田 英語の重要性は本当に大学行ってから思うね。それ以外で大学に行ってから痛感したことは、パソコンとかを含めた電子機器の技術かな。パソコンやスマホは大学生になってから絶対使うし、中高生の頃からもっと慣れたほうが良いと思う。

森山 学園というか後輩にだけど、とにかく部活を頑張ることが大事。大学に入ってからその後も先輩後輩との関係が大事になってくるし、そういうコミュニティにいて成長できる。なにより趣味を聞かれたときに部活でやっていたことを答えられるし。

柴田 森ちゃん自身、ハンド部の部長だし、部活やっていた良かった？

森山 部活をやっているときは練習とかがきつくて辛かったけど、大学行って何かするときに、自分と似たようなことを部活の顧問の先生が言っていたのを思い出して、影響を受けているなって感じるよ。

今だから後輩たちに伝えたい

伊藤 大学受験は、死ぬ気でやったほうが良いってこと。とにかく後悔しないようにやりたいことを見つけしてほしいかな。

柴田 俺は逆にあまり無理に急いで将来を考えるだけじゃなくて、学園生活をもっと楽しんでほしいかな。大学と学園でそれぞれの楽しさがあるから今をもっと大切にしてほしい。

森山 2人が勉強の話が多かったから別の点から話すと、好きなことを見つけてほしいってことかな。なかなか夢中になれることを見つけるのは難しいけれども、見つけに行くように自分から行動することが大事。将来のためにもなるし、何か夢中になれること、続けられることを見つけてほしい。何においても続けるってことは大切だし、つらい時も少し頑張ってみると、また得られるものも全然違うと思う。

柴田 なんか森ちゃんらしくないこと言ってる(笑)けど本当に大事だね。森山 あとはつながりかな。こうやって今日みたいに学園時代の友達と楽しく話せるっていうだけで、とても良いことだと思うよ。



中高メディア棟1階小会議室にて 取材：広報部



2016年3月4日(金)5日(土)の両日、湘南学園卒業生の作曲家尾高惇忠さん(高10回生)、指揮者広上淳一さん(高25回生)、ピアニスト野田清隆さん(高38回生)による日フィル定期演奏会が催されました。記念すべきコンサートのリハーサル会場にて、御三方に学園時代の恩師小川尚子先生との思い出などを語っていただきました。



リハーサルの様子 左：野田さん 右：尾高さん

広上 小川先生に初めて惇忠先生を紹介していただいた時「あなたはしっかり勉強しなければオーディションに落ちるかもしれません」と言われたことを良く覚えています。親に言えなかった音大受験を先生の後押しで実現したのですが、その頃の先生は私のことを非常識と言われ、先生だって同じだと子供心に思ったこともありました。ただお陰様で惇忠先生にお会いでき、先生は天才と思いました。いつも小川先生に怒られて、とにかく凄まじい先生でいら

したことは間違いありません。惇忠先生から「君はピアノをやりたいのか、作曲か」と聞かれ、小川先生は「作曲に向いてます」と言われましたが僕は指揮者になりたかった。そんな状況でハーモニーのレッスン、ピアノもサボってばかり。2週間に1回のレッスン時にさすがの惇忠先生も「お前いい加減にしろよ!」と。後悔していますが、あの時は精一杯でした。「今後はこんなことならレッスンはしないよ」と言われたのを覚えています。

尾高 あの時、素晴らしかったのよ。滅多に聴かない不思議なピアノを弾くもんだから、何か凄いなあと。でも指揮者になりたいと言わなかったね。芸術コースができる前だけど、僕はシャイなのに小川先生に、皆の前でショパンのノクターンを弾いてごらんなさいと。芸大受験の頃、今度は試験にも出るから歌いなさいと。俺、音痴なんだよね、やり始めると狂ってきて「こんなんでも受かるはずありません」と言われ、嫌な先生だなと思いました。

広上 若い頃の小川先生はかなり厳しかったんですね。

尾高 だから、俺は音楽をやめた方がいいんじゃないかと思うくらいに

なる。でもそれが愛のムチなんですね。思い起こせばその頃の先生は情熱のある凄い先生だったと思います。親父が早く亡くなり、母親が2人の息子を育てながらピアノを教えていて、何となく弾きたくなる環境にいた。やっぱりピアノが好きでした。芸大には作曲で入りましたが、受験の時に小川先生にピアノもやりたいですと言いましたら「2つは受けられない、国立音大のピアノ科を受けるのなら」とまで言われて。お陰様で両方受かったんですが、両方通えるわけじゃないですね。それでも小川先生から多くの刺激を与えていただいた思い出があります。私がフランスから帰ってきて、自分は何にもできない、作曲なんかやめたいと思っていたその頃、小川先生は湘南学園芸術コースをつくれ、朝練とか盛んにされていた。音楽コースの人たちに合唱曲を書いてほしいと言われ、ポケットマネーか学園からか、幾らかのお金を頂いたのを覚えています。それで初演の指揮者は広上さん、川久保さんもいましたね。

広上 その頃の写真が昨年のNHK番組で紹介された1枚です。

尾高 本当に今から思えば小川先生には大変お世話になりました。ですから今回のピアノコンツェルトを広上君とも相談してるけれど、先生が意地悪しなかったら(冗談に一同笑)、先生に献呈しようと考えているんです。

広上 少しでも先生の生きる目標になれば、次々と一緒に考えていきたく



湘南学園元音楽教諭 小川尚子先生

恩師 小川先生との思い出を語る



尾高 惇忠

高1962年卒

東京芸術大学名誉教授。桐朋学園音楽部門特任教授。日本現代音楽協会会員。1982年2012年尾高賞受賞。

いですね。

尾高 なにせ広上君は大したもんです。野田君もこれから楽しみです。小川先生は野田君を一番可愛がっているよね、最後の卒業生だものね。

野田 今、先輩たちの話を聞いていて涙が出そうなんです。私はおよそ家庭環境的にもアカデミックなことではない中で、たまたま音楽をやりたくなったんです。自宅の4軒先に川久保先生がいらしたこともあり、ピアノをやるには遅く12歳の時でしたが、川久保先生は思いを受け止めて教えてくださいました。ご自分が湘南学園で幸せな時間を過ごしたからと私に学園を勧められて、中学校入学後、小川先生を紹介されました。当時、私には音楽的情報が何も無く、音楽雑誌をむさぼるように読んでましたが、雑誌の尾高先生はアイドルのようで、広上淳一という人はデビューされたばかりで羨望的。その方々はどんな方ですかと伺うと小川先生は「広上さんは非常識な人」とか（一同笑）。勿論、愛情込めておっしゃっているのだけれど。音大に行きたいと言ったのですが、何もできない状況の私でしたので、先生に守られた印象が強いです。逆にすがりつく思いで、小川先生という宗教に入信した気持ちでした。あの鋭い目で「あなたは尾高さん、広上さんに続く人ですよ」と言われました。深い根拠もないと思いますが、いい方向に自分でも行くのかと。しかしピアノは弾けないんですね。でも一生懸命することが前提で練習をサボ



広上 淳一

高1977年卒

京都市交響楽団常任指揮者兼ミュージックアドバイザー。東京音楽大学指揮科教授。

るなんて考えられなく、親も音楽なんて考えてない環境で、理解されていない状況を親の代わりに小川先生が守ってくださったのです。

司会 凄いい話ですね。その時代の湘南学園の素晴らしさを今の生徒達にも伝えていきたいですね。

野田 ピアノの時間でも先生は弾けない私を他の生徒に「始めたばかりですから」とおっしゃって、スパルタでなく愛情で守ってくださった。そうでなければ今の僕は存在しなかったと思います。湘南学園55周年コンサートで卒業生ピアニスト高橋悠治氏（5回生）の譜めくりをやり、打ちのめされました。恥ずかしながら小川先生に指揮者になりたいと言ったんです。でも先生は深い根拠もなかったと思うのですが「あなたはピアノです」とおっしゃった。これは今から思うとちょっと驚きですね。その後大学に行きコンサートに何度も出かけるようになり広上先生にもお会いした時、小川先生ばりに「何をやってるんだ、芸大に入ってコンサートばかり聴いていても腕は上がらないぞ、今こそ100倍練習する時だ」と強く言われたのです。

広上 俺、そんなこと言ったかな(笑)。

野田 でもその時感じたのは、先生も100倍指揮の練習をされたのだと思いました。

広上 野田君の話聞いていて、彼は相当な努力家だと思います。今思うと小川先生は惇忠先生の時代は40代、僕の時は50代、彼の時は60前後ですよ、今僕がその歳。年齢によっ



野田 清隆

高1990年卒

東京芸術大学ピアノ科室内楽科講師を経て、東京学芸大学准教授。東京音楽大学指揮科特別アドバイザー。

て、人間の見方が変わりますよね。小川先生という方はご本人は気付かないが、その時に応じ無意識の中で教員としての才能、天性をお持ちになっていたことは間違いないと思います。

尾高 そうだね。

広上 野田先生の場合は、この子は愛情を示すことで伸びるのではないか。広上さんは何か笑ってしまうけど厳しく。俺は泣いていたんですけど(笑)惇忠先生は、きっとあの人は大丈夫。クールに人を分析しながら、この人にはこれ以上すると傷つくとか、この人には大丈夫とか、そのような才能がおりだったのではと、今の野田さんの話を聞いてそう思いましたね。



終演後の懇親会にて、出席者に囲まれる小川先生

【後記】リハーサルでお疲れのところ、また本番を前に緊張されている状況下で、我々の要望に応じて学園時代の思い出をお話いただき、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

司会・編集 同窓会副会長

前川 力(高9回生)

撮影 鈴木利健(高10回生)

※掲載の都合上、一部抜粋となりましたのでご了承ください。インタビュー全内容は同窓会ホームページでご紹介しています。「湘南学園同窓会」で検索してください。



神奈川県セーリング連盟副会長
2014年度 旭日単光章 叙勲

昇 隆夫
高1960年卒 (第8回生)

江の島ヨットハーバーを基地として、江の島沖から葉山沖にかけての5海面にて2020年東京オリンピックのセーリング競技が開催されることとなり、長年ヨットに関わってきた者として大変嬉しく思っております。

私は昭和35年3月に湘南学園高等学校を卒業するまで、12年間学園にお世話になりました。私とヨット（アトラクタ五輪よりセーリングと呼称する）との出会いは、中学1年夏の長野県野尻湖の林間学校の時です。湖面を音もなく走るヨットに初めて乗った時の感動は今でも覚えています。

立教大学に入学してすぐの日、校庭でばったり学園の1年先輩である井上義郎さんにお会いしました。井上先輩はヨット部に所属されていて、私は西も東もわからぬ



立教大学体育会ヨット部春合宿 佐島湾にて (1963年)

まま部室に連れていかれ入部させられました。井上先輩とは今でも親しくお付き合いさせていただいております。

大学4年間は文字どおりヨット一筋に打ち込み、ここから私のヨット人生は始まりました。そして今日まで母校のコーチ、監督、日本セーリング連盟 (JSAF)、神奈川県同連盟 (KSAF) の役員を幾多経験し、平成26年11月には旭日単光章を叙勲し、現在は神奈川県セーリング連盟の副会長として競技に関わっております。

江の島ヨットハーバーは50年前の東京オリンピック開催のために設立されました。今回のオリンピックセーリング競技は東京湾奥にハーバーを建設する計画でしたが、その海面の上空は羽田空港を離発着する航空機の空路のため、競技を撮影するヘリコプターを飛ばすことの許可が下りず、江の島で2回目の大会を行うことになりました。



現在江の島ヨットハーバーには、大小約1,000艇のヨットが陸置き、係留されております。これらを本大会、プレ大会時には移動させなければならず、大きなエネルギーが必要とされます。移動先としては相模湾、東京湾の他の施設が考えられております。

大会は東京オリンピック組織委員会が中心となり、準備がすすめられていますが、現在までセーリング競技については具体的な予算措置はされておられません。

JSAFとしてはすでに大会開催準備のための役員を決めており、今夏のリオデジャネイロ大会視察の他には当面動きがみられない状況ですが、ふたたび地元江の島にてオリンピックが開かれることの喜びを感じつつ、開催の日まで力を尽くそうと思っております。

講演会のお知らせ

7月2日(土)同窓会総会と同日開催の「松ぼっくりフォーラム」にて、昇隆夫さん、特定非営利活動法人セイラビリティ江の島代表理事の北川源太郎さん(中1958年卒・9回生)を講師にお迎えし、ヨットの楽しみ方等の講演会を開催します。皆さまのご来場をお待ちしております!

創立80周年の2つの財産

湘南学園 前学園長
仲本 正夫

6年間、同窓会の皆様には本当にお世話になりました。

ふりかえると、いろいろな分野で活躍されてきた同窓会のみなさんとの出会いは、私にとって想定外の大きな宝物となりました。



創立80周年の財産には2つあり、1つは「チーム湘南学園」であり、もうひとつは80周年記念館です。

6年間の在任期間中、2010年からの4年間は、2013年の創立80周年の大事業の準備が大きなウエイトを占めました。そのきっかけが、2010年の森稔氏の湘南学園での中高生に向けた講演でした。その日の懇親会では森氏を真ん中にして同窓会長、PTA会長、後援会長と理事長・学園長が肩を組んだ記念写真が残っておりますが、それは「チーム湘南学園」の誕生を物語るものでした。この四者からなる実行委員会は、4年間で50回を数え、激烈(?)な議論を繰り返しながら記念事業を推進していく中で、人と人のつながり・「チーム湘南学園」が名実ともに出来上がっていったといえます。

同窓会室とカフェテリアをもつ80周年記念館は、創立80周年事業の象徴のひとつです。その後の2年間は、この記念館の建設が、どれだけタイムリーであり、重要なものであったかを示すものとなりました。この1年、中高の募集事業、中学生、小学校生、幼稚園年長さんなどのランチが毎日のように見られるようになりました。そこに、同窓会や後援会、PTAの皆さんと教職員も一緒に食事をするというほのほのとした日常風景が広がってきました。

しかし、この建設は、小学校建設直後のこともあり、湘南学園の財政状態を考えると学園単独事業としてはとても考えられない大事業でした。それが、80周年の節目の事業としてチーム湘南学園で確認されて、「松ぼっくり募金」が始まり、東日本大震災直後で建設資材等の高

騰の中で、建設費の6割を充当するとともに、教育振興基金の設立をも成し遂げることができたのです。

周年事業というものの持つ重要な意義が実践的に明らかになったともいえます。

今、湘南学園は、その教育を発展させるために、財政上、組織上の課題をかかえています。チーム湘南学園の知恵や力がさらに発揮されることを期待しています。

母校湘南学園の教育を発展させるための
2つの寄付制度でご支援を

急速に進展するグローバル教育やICT教育等をすすめるために、湘南学園は、教育条件の改善や施設設備の拡充が切実に求められています。

しかし、これらの事業は、毎年、多額の費用を要するため、学費収入と私学助成に依存する学園財政は、非常に困難に直面しております。

とくに、神奈川県私学助成の水準が全国最下位にあり、困難はいっそう増しております。

湘南学園としては、子どもたちのために何としてもゆきとどいた教育をしていきたいと努力しておりますが、そのためにはこの財政的な困難を何としても突破しなければならないと考えて、多くの学園関係者にご支援をよびかけております。卒業生の皆様のご協力を心よりお願い致します。

【1】教育振興寄付基金(毎年)

目的 グローバル教育やICT教育を推進するための教育条件の改善と施設設備の拡充

目標 1000万円
1口5万円(できれば2口以上)

期間 2016年4月1日～2017年3月31日

方法 振込み用紙による(事務局にお電話いただければ郵送いたします。)

控除 寄付金控除が受けられます。

【2】遺贈寄付金(随時)

自分の財産を母校湘南学園の子どもたちのために役立てたいとお考えの方へ

目的 湘南学園の子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるため

方法 三菱信託銀行の遺言信託制度(提携)によるアドバイスとお手伝いをご利用(遺言の作成、保管、執行等)になれます。

窓口 湘南学園事務局(常時)

0466-23-6611

詳しくはホームページをご覧ください。

2016年度同窓会総会 招集のご案内

2015年度 収支決算報告(案)

湘南学園同窓会正会員各位

湘南学園同窓会会長 筧 元則

同窓会の皆さまには益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より同窓会の活動にご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の総会を下記の日程にて開催いたしますので、万障お繰り合わせのうえご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

- 日時：2016年7月2日(土) 午前11時より
 場所：学校法人湘南学園センターエリア事務棟
 3階大会議室 藤沢市鶴沼松が岡4-1-32
 議題：第1号議案 2015年度事業報告ならびに
 収支決算報告書承認の件
 第2号議案 2016年度事業計画ならびに
 収支予算案承認の件
 第3号議案 役員改選の件

総会後はカフェテリアでのランチをお楽しみください。午後は松ぼっくりフォーラム講演会を開催いたしますので、そちらも是非ご参加ください。

2015年度収支決算(案) (2015.4.1~2016.3.31)

第1号議案資料

収入の部	予算	実績	差異	備考
前期繰越金	5,544,344	5,544,344	0	
入会金	1,020,000	1,016,460	▲ 3,540	高校168名+小学校3名
年会費	1,250,000	2,142,000	892,000	注1
前受年会費	190,000	216,000	26,000	注2
寄付	100,000	81,000	▲ 19,000	
広告料	200,000	200,000	0	
雑収入	10,000	25,985	15,985	Tシャツ・ベナント売上金
収入合計	8,314,344	9,225,789	911,445	

支出の部	予算	実績	差異	備考
松ぼっくりフォーラム	100,000	72,132	27,868	
学園祭	200,000	105,200	94,800	
その他	100,000	0	100,000	
事業部計	400,000	177,332	222,668	
seaside発行費	1,400,000	1,275,077	124,923	
ホームページ関連	100,000	65,124	34,876	
取材費	50,000	4,617	45,383	
広報部計	1,550,000	1,344,818	205,182	
資料作成費	50,000	0	50,000	
資料部計	50,000	0	50,000	
卒業記念品	165,000	161,804	3,196	
事務費	100,000	125,418	▲ 25,418	
受取手数料	100,000	152,255	▲ 52,255	注3
通信費	110,000	121,365	▲ 11,365	電話代 33,405円(一年分)
会議費	180,000	161,881	18,119	
交際費	70,000	82,481	▲ 12,481	
慶弔費	100,000	60,082	39,918	
雑費	10,000	0	10,000	
総務部計	835,000	865,286	▲ 30,286	
設備費	100,000	0	100,000	
寄付金	530,000	530,000	0	
支出小計	3,465,000	2,917,436	547,564	
次期繰越金	4,849,344	6,308,353	1,459,009	
支出合計	8,314,344	9,225,789	911,445	

注1. 年会費の内訳(2千×746名、終身1万×49名、終身2万×8名)

注2. 5年一括払いの内4年前受27名分

注3. 会費等の受取手数料を含む

次期繰越金内訳(横浜銀行2,006,677、郵貯4,290,247、手持現金11,429)

同窓会費納入のお願いとコンビニ払い停止について

昨年度会費をご納入いただいた方々、またご寄付を頂戴した方々には厚く御礼申し上げます。

同窓会の活動は卒業生の入会金と会員の方々の年会費で賄われておりますが、毎年会費の納入率は一割に満たない状況です。母校を支える同窓会の発展のため、年会費の納入を宜しくお願い申し上げます。

会費納入の種類(同封の振込票)

1. 年会費は2,000円です。
2. 5年一括払いは10,000円です。
3. 終身会費は、66歳~70歳の方は20,000円、71歳以上の方は10,000円です。

■会費以外に多少なりともご寄付をいただければありがたく存じます。

■銀行をご利用の場合は下記口座へお振込みをお願いいたします。

郵貯銀行「湘南学園同窓会」名義
 口座記号番号 00230-2-75579

コンビニ払いの停止について

昨年まで利用しておりましたヤマト運輸メール便が郵便法に基づき廃止され、本年はコンビニ払い用紙を同封できません。会員の皆さまにはご面倒をおかけいたしますが、郵便局または銀行からご納入ください。何とぞ宜しくお願い申し上げます。詳細はホームページをご覧ください。

行事予定・学園人事

■行事予定

- 7月2日(土) 2016年度同窓会総会
 松ぼっくりフォーラム講演会
 10月1日(土)~2日(日)
 中学園祭・同窓生作品展示会等

■学園人事

- 理事長：河野 重男
 学園長：川井 陽一(新)
 中学校長：榎本 勝己(新)
 小学校校長：河本 洋子(新)
 幼稚園園長：古田 優子
 法人事務局長：清水 利明
 P T A 会長：濱野 文一(新)

【訃報】1992年から12年間同窓会の発展に務められた田端恭蔵元同窓会会長(高校第1回生)が昨年12月ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

SEASIDE Web は、湘南学園同窓会で検索 <http://shogak-doso.org/>